

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○6月23日～

先週は日米で金融政策を決める会合がありましたが金利は日米ともに予想通り据え置きとなりました。日銀は来年の春以降、国債の買い入れ減額のペースを緩めることも発表しました。

これは、来年の3月までは四半期ごとに買入額を4000億円ずつ減らしていきますが、4月以降は2000億円ずつに減額するということです。

金融引き締め(QT)姿勢を少し緩める形になります。

トランプ政権になってから不安要素が多く、金融政策も身動きが取りにくい状況です。

マーケットは思ったよりもリスク回避的な動きが限定されています。

状況がわからないだけにポジションを取りにくいということでしょうか。

関税の期限が来る7月初めあたりまで神経質な動きが続くかもしれません。

ニュースから目が離せない状況になりそうです。

また、米国が不意打ちのようにイランの核関連施設3カ所を攻撃したというニュースが22日に入ってきました。週明けのマーケットがどうなるのか気になります。

先週はイランに対して2週間という期限を言っていたため1週間くらいは何も起こらないと思っていたところ、日曜に驚きのニュースが世界を駆け巡りました。

今後、中東情勢がどうなるのか心配です。イランは核開発をやめる気はなさそうです。

そして、米国の攻撃に対して報復するとイランは表明しているため中東地域の米軍基地などを攻撃する可能性があります。

イランの後ろには中国とロシアがいます。ロシアがどう動くかにも注目が集まっています。

イラン、イスラエルにいる外国人は国外に避難を開始しています。

民間人の避難が完全に終わる頃に再び何かが起こる可能性があります。

ホルムズ海峡封鎖まで行かなくても通常通りに船の運航が困難になれば、原油価格などに影響が出る可能性があり、物流の問題からインフレが進むとの指摘もあります。

今のところ市場は有事のドル買いの動きになっています。

ドル/円で見て13日を底に先週はドルが上昇しています。

避難通貨として選ばれやすいスイスフランもそれほど買われず、ドル/スイスで見てもドルは強い動きとなっています。このままドルが強い状態が続くのかどうかも重要なポイントです。

そして、米国との関税交渉は進展が見られず、米国は日本に対して自動車よりも製薬や半導体関連で投資をしてほしいという話もあります。

また、農産物の中では米を買ってほしいという話もあり、日本の思惑と米国の思惑は全くかみ合っていないように見えます。

関税については、東南アジアなど日本以外の国がどのように交渉をまとめるかも気になります。

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル/円>

先週のドル/円は月曜から金曜まで緩やかな上昇が続きました。

5月終わりにつけた146.3円あたりの高値を超えてくると148円台まで上昇する可能性がでてきます。日銀の利上げもなかったことで円買いの動きがおさまっています。

下値は144円台を維持している間は強い動きが続きそうです。

143.6円を割り込むと142円を目指す動きが出やすいため注意がいります。

テクニカルで見ると5月中旬の148.6円あたりまでの上昇の場合はレンジ相場の動きが続いていると見ることもできます。4月安値の139.8円と5月高値の148.6円程度のレンジの中の動きが続いているということです。

<気になるクロス円>

クロス円もユーロは強い動きになっていますがオセアニア通貨などは停滞したような動きです。

クロス円は株価が大きく崩れるとリスク回避的な動きで下落することが多いため、米国株などが大きく崩れてくるような動きになれば警戒がいります。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では6月東京都区部消費者物価指数などがあります。

米国では6月製造業・サービス部門・総合PMI(速報値)、5月中古住宅販売件数、1-3月期四半期経常収支、4月耐久財受注、4月ケース・シラー米住宅価格指数、6月消費者信頼感指数(コンファレンス・ボード)、6月リッチモンド連銀製造業指数、パウエル・FRB議長発言、5月新築住宅販売件数、1-3月期GDP(確定値)、5月耐久財受注、前週分新規失業保険申請件数、5月住宅販売保留指数、5月個人消費支出(PCEデフレーター)、6月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。欧州では、ユーロ圏とドイツで6月製造業・サービス業PMI(速報値)、ドイツで6月IFO企業景況感指数などがあります。

ほかには、カナダとオーストラリアで5月消費者物価指数、カナダで4月GDPの発表などがあります。